

御陵の風

令和元年5月発行 学校便り



文責:校長 藤井浩彦

◆第1回学校運営協議会を開催しました！【5月16日(木)】

本年度、会長には引き続き大木裕憲さん(御中会)、副会長には桐ゆかりさん(本校PTA会長)が選任されました。本会議では、会の始めに、生徒会長の浜辺祥希くんより「本年度の生徒会スローガンについて」、そして、池下凜音さんより「本年度の体育祭スローガンについて」、二人が力強く語りました。そのあと、本年度の「学校経営方針」を私が説明した

学校運営協議会委員

1	洋見 博	仲島区長	11	佐々木 隆志	大野東小校長
2	丸山 利男	中区長	12	梶 幸男	大野城市教育委員会
3	萱島 龍起	上筒井区長	13	藤井 浩彦	御陵中校長
4	小園 明美	主任児童委員	14	釜瀬進一郎	御陵中主幹教諭
5	中村真紀恵	元PTA副会長	15	下見 祥子	御陵中主事
6	大木 裕憲	御中会	学校関係者		
7	桐 ゆかり	PTA会長	16	中嶋 健一	御陵中教頭
8	吉武 あき子	PTA副会長	17	廣川 雅己	御陵中主幹教諭
9	伊藤 智美	御笠の森小校長	学識経験者		
10	松吉 典子	大野北小校長	18	薄 千里	筑紫女学園大学准教授

あと、コミュニティ担当から本年度の年間計画について、また、「御陵中学校いじめ防止基本方針」等について学校より説明をしました。

指導・助言をしていただいた筑紫女学園大学の薄千里准教授より、「子ども達のあいさつの姿、掃除をしている姿など大変素晴らしい。御陵中学校は、非常に落ち着いた状態にある。3月に行われた卒業式においても子ども達が涙を流しながら別れを惜んでいる姿がある。これは、学校に別れがたい素晴らしいよさがたくさんあるからなのだと思う。今後の御陵中学校に、ますます期待している。」と話していただきました。

これからも、学校・家庭・地域の三者が、「予測不可能な未来をたくましく生き抜いていく子どもたちを育てる」という共通の目標に向かって力を合わせていきたいと思えます。そして、昨年度以上に保護者・地域に愛される「コミュニティ・スクール御陵中」にしていきたいと思えます。ご理解とご協力をよろしくお願ひします。

◆感動いっぱいの「第37回体育祭」【5月19日(日)】

雨が心配された体育祭でしたが、願いが通じ予定通りの開催ができました。当日は、多くのご来賓・地域の方々、そして保護者の皆様の熱心な応援の中で、本当に素晴らしい感動いっぱいの体育祭になりました。すべての競技・演技に子ども達は全力を尽くしました。改めて子ども達の素晴らしさと無限の可能性を感じずにはいられません。閉会式で、すべての結果が出ましたが、結果に関係なく子ども達は、最高の「宝物」を手に入れることができたのではないかと思います。この「宝物」は、一つの目標に向かって精一杯に頑張ったあとにしか手に入れないものです。最後の全ブロックの子ども達が肩を組んで校歌を歌う姿に何とも清々しい気持ちになったのは言うまでもありません。子ども達の今回の頑張りが、日常生活につながり、さらに素敵な御陵中学校への第一歩となってくれることを願っています。事前の準備からたくさんのお手伝いをしてくださったPTA役員の皆様、地域の方々を始め多くの皆様に心から感謝いたします。



6月行事

日	曜	行事	日	曜	行事
			12	水	内科検診
3	月	暴走講演会 完全夏服	13	木	期末考査・教育相談
4	火	体力測定	14	金	期末考査・防災教育
5	水	内科検診	18	火	県学力調査[1・2年生]・内科検診
6	木	選手激励会・部活動写真・内科検診	19	水	眼科検診
7	金	授業参観・懇談・説明会等	21	金	性教育講演会
		PTA委員総会・懇親会	25	火	内科検診
11	火	耳鼻科検診	26	水	内科検診

『プロ意識』

学校の詩

ふと、5年ほど前のある夜のことを思い出しました。

私は、数人の先生と一緒にタクシーに乗って自宅へ帰ろうと、JR大野城駅でタクシーを待っていました。しばらくすると、1台のタクシーが到着しました。二人の先生は後ろ、私は助手席に座りました。乗った瞬間、りんごのほのかな香りがしました。運転席側のダッシュボードを見ると、リンゴが6個きれいに並べてあったのです。私は、そのことがとても不思議に思えて運転手さんに質問をしました。「なんで、リンゴが並んでいるんですか？」するとその運転手さんは、こう言ったのです。

「テレビでも5回ほど取り上げていただきましたが、私はだいぶ前からこうやってリンゴを乗せるようにしたのです。なぜかという、素敵な香りのするタクシーに乗っていただきたかったのです。リンゴの香りにたどり着くまでに、様々なものを試しました。最初は、市販の芳香剤。しかし、どれもじっくりこないのです。所詮、つくられた香りなのです。そこで、フルーツの香りに目をつけ、様々なフルーツを試してみました。その結果、このリンゴにたどり着いたのです。リンゴの香りは、リラックス効果やストレス緩和に効果があると言われています。短い時間であっても私は、お客様に満足してもらいたいのです。自分の勤務が終わると、リンゴは長持ちさせるために冷蔵庫にしまいます。そして、この車を使用するもう一人の運転手とも約束をして、嫌な匂いが移らないように、禁煙であることはもちろん決してこの車の中で飲食をしないようにもしたのです。さらに私は、週に最低2回は洗車をします。一日のうちに2回洗車することもあります。ワックスがけも週に1回は必ずします。とにかく、いつもきれいにしてお客様に満足してもらいたいのです。最近では、私のリンゴが腐る前に買い取ってジャムをつくられる支援者の方もいます。また、私を指名して下さるお客様もたくさんいらっしゃいます。」

「それだけ人気が出たのなら、真似をするタクシーもたくさんいたのでは？」と私が聞くと、「当然、たくさんいらっしゃいました。ところが、続かないのです。最初のうち、真似は出来たとしても、続けていくにはそれなりの根気やこだわりが必要なのです。ですから、リンゴを乗せているタクシーは、今では全国でも私と青森県を走っている1台だけだと聞いています。」

その運転手さんは、終始笑顔で優しく丁寧な言葉で話してくださいました。その話しぶりからも素敵な人柄が伝わってきました。私は、とても感動しました。タクシーにわずかな時間乗って感動するなんて経験はありませんでした。正直、「移動の手段」としてしか私は考えていなかったのです。しかし、その運転手さんは自分の仕事にここまでこだわりをもって取り組まれている…その意識の高さに私は、職は違えども学ぶべきところがたくさんあると感じたのです。その運転手さんのこだわりこそが「プロ意識」ではないかと思ったのです。ただ、お客さんに乗せてお金をもらうのではなく、十分に満足して乗っていただくという「相手意識」、「お客様意識」をもって仕事をする。そして、常に向上心を持ち、努力をし、学び続けている。まさに、「プロ」だと思いました。

私たち教師も「教育のプロ」です。常に向上心を持ち、学び続ける教師でなければなりません。未来を創る素敵な子ども達のために私たちは「プロ意識」「相手意識」を持ち、全力で取り組んでいく必要があります。

子ども達の体育祭の練習に全力で取り組む姿、本番での頑張り、笑顔、涙…そんな姿を見ていると、改めて子ども達に負けないように頑張らなくては…と思う私でした。そう思わせてくれる子ども達に、改めて感謝をした第37回体育祭でした。

[校長：藤井浩彦]